

委員会の審査から

町田市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

委員会録画中継は
こちらから



文教社会

6月10日に議案5件、
請願1件の審査を行いました。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『新たな学校づくり推進事業』

委員 小山田・小山田南地区の小学校区は請願が採択された経緯もあって、様々な統合についての意見が寄せられている。その後の経過について改めて確認したい。

新たな学校づくり推進課長 請願の趣旨として、小山田周辺まちづくりの構想であったりとか、小山田地域で計画されている道路整備の進行状況、また市と地元で進めているまちづくりを考慮した上で、統合時期の見直しを視野に入れ、教育委員会だけではなく、長期的な視点で関係部署と地元での議論をすることが求め

られているということを受け止めています。このことからこれまで計6回、市教育委員会だけではなくて市長部局の関係部署を集めて、地域の方々と意見交換会を重ねてきているところです。26年5月に一度行い、また6月に一度行う予定としています。

委員 統合されたときの児童生徒ないし保護者の声はどう拾っていくつもりか。

新たな学校づくり推進課長 統合する際に影響を受ける児童または未就学児からの意見をいただくことが必要だと考えています。現時点において在籍する児童、保護者のほか、未就学児の保護者や地域の方々を対象に、幼稚園や保育園、また町内会・自治会における回覧や広報まちだ、ホームページを通じて、新たな学校に求める施設機能や設備に関して意見募集を行い、寄せられた意見を基に検討会で検討を重ねて、建設の基本計画に反映していきたい。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『待機児童解消対策事業』

委員 90名の待機児童が出ている現状で、小規模保育所1園の整備だけで足りているのか。さらなる開所の計画などはあるのか。

子育て推進課長 保育の受皿の確保については施設整備に加えて、既存施設を活用して引き続き行っていく予定です。28年4月の開所に向けて認可保育所の整備についても検討を進めているところです。

総務

6月11日に議案5件の審査を行いました。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『町田駅周辺客引き等防犯事業』

委員 商店街関係者の方からもお話を聞くというところで、これから調査をした上でどうするかという段階だと思うが、丁寧に聞き取ることに關して、どう考えているのか。

市民生活安全課長 客引き行為を減らすためには、その町に住む方とか働く方、またその町に来る方、その方々が客引きをしない、させない、利用しない、許さない、そのような思いを持たなければ、幾ら条例をつくっても、それはかなうことはないのかと思っ

ています。どこまでを規制するのか、どういうものであればアウトということにするのか。そういうところも含めてご意見を聞きながら、そして町全体で客引きにノーと言えるような思いが持てるようにしていくことが大事だと思っていますので、そのように取り組んでいきたいと考えているところです。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設整備事業(債務負担行為の設定)』

委員 PFIとか資金の平準化といったものもあったが、ECIのとき、総工費の削減効果とか予算の平準化はどういった形になるのか。

公共施設再編担当課長 PFIのような平準化というよりは、契約の手法として、前金払いから完了までの中間前払いなんていう形で、財源としては市債、地方債を充てて、極力一般財源を圧縮していくことを想定しています。

委員 プロポーザルも相当期間がないと一歩踏み出せないという声も事業者から聞いたりするがどうか。

公共施設再編担当課長 PFIが中止になってからサウンディング調査を2回ほど繰り返しました。どういう形がいいかということ、ECIという判断をしてきた経過があります。経過の中で事業者には、繰り返しサウンディングをして、参画意欲があるというのを聞いていますので、見込んでいっているとおりになるのではないかと考えています。

建設

6月10日に議案6件、
請願3件の審査を行いました。

町田市中心市街地開発推進基金条例

委員 特に第6条について、具体的にはどのようなものを指すのか、使えるのか。

都市政策課担当課長 公共施設の整備については、駅前へのペDESTリアンデッキとか道路整備を想定しています。

委員 バスターミナルの関係、あるいはD地区に想定される施設等、もう少しその内容、範疇を広げた場合、道路、ペDESTリアンデッキ以外にも使うことができるかと考えているのか。

都市政策課担当課長 D地区の集客施設に例えますと、運営を含めて、まだ決まっていな部分もありますので、そういった部分を踏まえて適切

に基金を使っていくかどうかを見定めていきたいと考えています。バスセンターについては、別で多摩都市モノレールの基金もあります。駅前広場に関しての整備に充てられることになっていますので、そちらとの兼ね合いも含めて、使い方を検討していきたい。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『中心市街地まちづくり推進事業』

委員 基金も創設するといふ話だったが、国や都の財源はどの程度見込めるのか。

都市政策課担当課長 都市再開発法に基づく市街地再開発事業の実施になれば都市計画手法を用いたまちづくりと一緒に考えていけたらと思っ

ています。D地区のほうは目標としているのは再開発事業でよいのか、西側と北側のまちづくりについては都市計画事業になるのか。

都市政策課担当課長 D地区については、市街地再開発事業によるまちづくりを目指しています。北側と西側については、地権者の意向による計画ですが、そういった都市計画手法を用いたまちづくりと一緒に考えていけたらと思っ

健康福祉

6月11日に議案3件の審査を行いました。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『障がい者歯科診療所運営事業』

委員 機器の購入によって患者にはどのようなメリットがあるのか。

保健総務課長 今まで、診療所では対応できない治療が必要な方は、大きい病院を紹介するという形になっていました。患者様にとっては痛みや、かめなという不都合を抱えながらの生活を先延ばしするという形になり、ご家族様には改めて紹介先の病院の予約を取っていただく、もしくはそちらに移動していただくという、時間的にも精神的にもご負担があったかと思ひます。

委員 最高裁による取消し

紹介する件数が減りますので、診療所で治療ができるようになりま。こういったご負担が解消される部分がメリットになるかと考えています。

委員 特殊な麻酔機器はどんな機器なのか教えてほしい。

保健総務課長 静脈内麻酔を用いた治療というのが2種類あり、意識下鎮静という、受け答えはできる状態のもの、今回導入します眠りに近い状態で治療ができるというものになりますので、今までよりも、より安全に対応ができる機器という形になります。

令和8年度(2026年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
『生活保護費の追加給付事業』

委員 生活保護世帯に対する周知は国が中心に対応していくことになっています。その上で、市としてはホームページとか広報まちだでそういった周知をしていくことを考えています。

判決から1年たっている。速やかな支給が求められていると思うが、受給世帯は申出不要、廃止世帯は当時の世帯主からの申出によるということだが、どう周知していくのか。

生活援護課長 国からは、廃止世帯に対しての周知については、過去の受給歴を知られたくない方が存在することが懸念されるため慎重な判断が求められること、また、世帯の居住の確認のためにマイナンバーによる情報取得をすることは認められていないということの説明がありましたので、生活保護世帯に対する周知は国が中心に対応していくことになっています。その上で、市としてはホームページとか広報まちだでそういった周知をしていくことを考えています。